

畜産 FAX 情報 第8号

令和8年9月1日

発行:ゆとりみらい 21 推進協議会 指導部会 幕別町忠類地区

ガガイモ・アレチウリが今年も発生しています！

1.飼料用とうもろこし収穫後のガガイモ対策

ガガイモ対策のポイントは、「様々な方法で徐々に減らしていくこと」です。収穫に支障が出る場合は、秋の対策も検討する必要があります。

①収穫への影響具合を観察・記録

飼料用とうもろこし収穫時に、ガガイモによる収穫作業への影響具合を記録しておく、対策を行う場合の優先順位を付けやすくなります。

②ほ場周囲の除草

ガガイモは「根」と「種」で繁殖します。種の飛散は、例年9月下旬から始まります。種の飛散を防ぐため、収穫作業の合間に法面の刈り払いを行うこともオススメです。また、収穫後にほ場内部(特に額縁部分)の除草剤散布も検討しましょう。

<推奨薬剤および散布量>

製剤名	散布量のめやす
グリホサート製剤 (商品名:ラウンドアップマックスロード、 タッチダウン iQ、クサトリキングなど)	ラベル表示「雑草茎葉散布ギンギン類」の最大量 ・ラウンドアップマックスロード 500ml/10a ・タッチダウン iQ 500ml/10a ・クサトリキング 700ml/10a

2. 特定外来生物の強害雑草「アレチウリ」を知っていますか？

つる性強害雑草のアレチウリが、近隣町村で数年前から確認されています。ガガイモよりも早い生長と強い繁殖力であるため、ほ場に侵入すると廃耕の危険性があります。

①アレチウリの特徴

- ・手のひらほどの五角形の葉。果皮はコンパイトウのような形状。

②発見した際の対応

- ・特定外来生物であるため、**持ち出し厳禁！**
除草剤の散布または根ごと抜き取り乾燥させた後、ゴミ袋に入れて処理する必要があります。

